

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

当財団は、北陸先端科学技術大学院大学の教育研究並びに同大学と産業界、学術関係機関及び地方公共団体等との交流の支援を図り、もって創造的な科学技術の発展に資する人材の育成及び研究開発基盤の充実に寄与することを目的に、3部門の公益目的事業を実施しました。

事業部門

I 公益目的事業1

北陸先端科学技術大学院大学の教育研究に対する助成事業及び選考委員会の開催

1 調査研究助成 16件 15,000千円

大学の若手研究者が行う調査研究に対し助成をしました。

- (1) 量子ウォークによる量子探索の量子コンピュータ上での実現に向けた基礎検討 (先端科学技術研究科知識科学系・助教 井手 勇介)
- (2) 人間と機械の協働による創造活動支援 (先端科学技術研究科知識科学系・助教 ジャ コンゼン (謝 浩然))
- (3) イノベーションデザインにおけるアイデア具体化のための知識体系化 (先端科学技術研究科知識科学系・助教 サラヤ サモラジヤデル エリケ)
- (4) ポリオミノパズルの設計支援手法の開発 (先端科学技術研究科知識科学系・教授 宮田 一乗)
- (5) 「証明の長さ」と「サイズ」の新たな理解 (先端科学技術研究科情報科学系・講師 横山 啓太)
- (6) 自然言語における繋辞と含意に関する論理学的研究 (先端科学技術研究科情報科学系・助教 大森 仁)
- (7) 隠れた難聴における聴覚末梢系の寄与に関する検討 (先端科学技術研究科情報科学系・助教 木谷 俊介)
- (8) 「名人を創る」から「名人を理解する」へのAI研究のパラダイムシフト (先端科学技術研究科情報科学系・教授 飯田 弘之)
- (9) ネオジムを消滅する磁石合金材料開発の材料情報学 (先端科学技術研究科情報科学系・教授 前園 涼)

- (10) 多糖の3D空間秩序化に基づいたハイブリッド材料設計
(先端科学技術研究科マテリアルサイエンス系・講師 桶菫 興資)
- (11) 液体ゲルマニウムの創出
(先端科学技術研究科マテリアルサイエンス系・講師 増田 貴史)
- (12) RNAの高次構造制御によるタンパク質性医薬品の高効率発現法の開発
(先端科学技術研究科マテリアルサイエンス系・講師 渡邊 貴嘉)
- (13) デュアルゲート低電圧有機トランジスタ型圧力センサにおける
センシング機構の検討 (先端科学技術研究科マテリアルサイエンス系・教授 村田 英幸)
- (14) ナノ材料力学特性評価法の確立
(先端科学技術研究科マテリアルサイエンス系・教授 大島 義文)
- (15) 二酸化チタンにおけるイオン自己拡散メカニズムの解明と
拡散係数の定量評価 (情報社会基盤研究センター・准教授 本郷 研太)
- (16) 水中でのコハク酸の水素化による1,4-ブタンジオール合成反応の高活性化を
指向した複合金属触媒の開発
(先端科学技術研究科マテリアルサイエンス系・准教授 谷池 俊明)

2 学生研究奨励金 36件 10,000千円

大学の研究科（博士後期課程）の学生のうち、優れた研究活動を行う学生に対し、研究奨励経費の助成をしました。

- (1) 公的研究機関における研究基盤施設が行う外部供用
(小野田 敬：知識科学系)
- (2) 変革的なサプライチェーンマネジメントコンセプト
(タサクル ニティボン：知識科学系)
- (3) インタラクティブな親子服のデザイン最適化：IoT技術エンティティと
エモーショナルバーチャルボディの融合 (ワウエイゼン：知識科学系)
- (4) 条件不利地域における地域の日常を活用した観光資源の創出プロセス
— 青森県八戸を事例として — (小畑 博正：知識科学系)
- (5) カテゴリデータのための新しい文脈ベースのクラスタリングフレームワーク
(ケイン.タイン フー：知識科学系)
- (6) データを基にした学習プロセス：テレビゲーム事業の課題と

- 機会から学べること (ベリ- エリック ネルソ:知識科学系)
- (7) 企業が社会的責任と永続性を果たすための価値布置の分析
(シトウパ`ンデ`チャ ジェットン:知識科学系)
- (8) 対話システムの変分自然言語生成のための敵対的ドメイン適応
(チャン ウァン カン:情報科学系)
- (9) モデル検査における様々なスケジューラの取り扱いに関する研究
(トラン ホ ニャット:情報科学系)
- (10) 長期的な位置評価のためのSingle Conspiracy Numberの使用
(チョウ スウ:情報科学系)
- (11) 変調スペクトル表現と 3D 畳み込みリカレントニューラルネットワークを用いたヒトの聴覚に基づいたエンドツーエンドの感情音声認識
(ペン ジチャオ:情報科学系系)
- (12) 生活周囲の支援(AAL)に対応する人間・ロボット・スマート環境の間のインターフェースによる統合アプローチに関する研究
(ブイ スウオン ハ:情報科学系系)
- (13) 共焦点SGF顕微鏡と分光法による稲種子の糖鎖の発達に関する研究
(松原 彬:マテリアル科学系)
- (14) TEM-AFMを用いたAuナノ接点の測定によるナノスケール力学の研究
(石塚 慧介:マテリアル科学系)
- (15) 超高感度グルタミン酸検出のための単層カーボンナノチューブ電界効果トランジスタに組み込まれたグルタミン酸結合タンパク質
(ゲン トウソウ タン:マテリアル科学系)
- (16) 金属塩との相互作用を利用した高性能高分子の設計
(伊藤 麻絵:マテリアル科学系)

※ 上記の他、20件の研究活動に対しても研究奨励経費の助成をしました。

3 選考委員会の開催

上記助成事業に対する選考委員会（選考委員5名による書面選考）を9月、10月及び2月に行いました。

II 公益目的事業2

企業と大学との共同研究助成事業及び産学官交流事業

1 共同研究の実施に対する助成 10件 4,056千円

民間企業が北陸先端科学技術大学院大学と共同で行う先端科学技術分野に関する研究に対し、その研究費の一部を助成しました。

- (1) 炭素系材料を活用した2次電池に関する評価(再契約)
(テックワン(株)／松見 紀佳：先端科学技術研究科教授)
- (2) 液体電極プラズマを活用したフロー分析システムの環境影響の評価と解析
((株) マイクロエミッション／高村 禪：先端科学技術研究科教授)
- (3) 光架橋性人工核酸を用いた細胞内遺伝子の迅速な検出方法の開発
(日華化学(株)／藤本 健造：先端科学技術研究科教授)
- (4) 進化分子法に基づく高機能バイオ計測ツールの実用化に関する研究
(Bioseeds(株)／高村 禪：先端科学技術研究科教授)
- (5) 高度QoLを実現するライフケア・デザインに関する研究
((株) 公進都市企画／永井 由佳里：先端科学技術研究科教授)
- (6) 高分子材機能の発現機構解析とその高機能化(変更契約)
(北日本紡績(株)／島原 秀登：ナノマテリアルテクノロジーセンター助教)
- (7) 働くモラルと機能を両立させたユニホームデザインに関する研究
(社会福祉法人 北伸福祉会／中田 泰子：産学官連携推進センター主任 URA)
- (8) 迅速簡便遺伝子センサーの開発
((株) バイオデバイステクノロジー／高村 禪：先端科学技術研究科教授)
- (9) 避難所用・紙の間仕切りシステムの感性評価
(小松マテール(株)／永井 由佳里：先端科学技術研究科教授)
- (10) 触覚デザインにおける設計手法と成形技術の開発研究
((株) 公進都市企画／永井 由佳里：先端科学技術研究科教授)

2 技術指導・相談の実施に対する助成 0千円

今年度、大学の「技術・サービス制度」活用の助成申請がありませんでした。

3 産学官交流の連携協力等 3, 731千円

(1) 産学官交流推進事業

イベント名 : 北陸発の産学官金連携マッチングイベント

「Matching HUB Kanazawa 2018」

メインテーマ : 北陸地域の活性化を目指した新産業創出と人材育成

サブテーマ : 地方創生と起業・創業

開催日 : 平成30年11月1日(木)・11月2日(金)

場所 : ANAクラウンプラザホテル金沢

主催団体 : 北陸先端科学技術大学院大学
北陸先端科学技術大学院大学支援財団
産業技術総合研究所中部センター

事業内容

①講演

基調講演

「日本を抜いた中国の科学技術 一起業へつなぐ」

講師 : 国立研究開発法人科学技術振興機構

上席フェロー 沖村 憲樹氏

特別講演

『法師』1300年の歴史を繙く」

講師 : 粟津温泉「法師」46代 法師 善五郎氏

「三協アルミ・立山アルミから Sankyo Tateyama へのあゆみ」

講師 : 三協立山(株) 常務取締役 山田 浩司氏

「福岡地域戦略推進協議会(FDC)の取り組みについて」

講師 : 福岡地域戦略推進協議会(FDC) 事務局長 石丸 修平氏

②パネルディスカッション 「テーマ : 地方創生と起業・創業」

パネリストに講演の講師のほか、大学教員や最近新たな形態の事業の起業経験者を加え、起業・起業の際の経験を踏まえた意見交換を行いました。

③学生ビジネスアイデアコンテスト(M-BIP) 最終審査

全国から応募のあった59件の提案について、二次審査に合格した12件の最終審査として公開プレゼンテーションを実施したほか、一次審査に合格した23件のポスターセッションを行い、いずれも優秀な提案について表彰しました。公開プレゼンテーションはインターネットで同時配信しました。

④パネル展示 235ブース

企業や大学、公的機関、金融機関の事業や研究シーズを展示し、広い分

野・業種にまたがる連携活動に大変有意義な機会が設けられました。

また、展示の内容等の1分間プレゼンテーションのビデオを会場内で放映したほか、インターネット配信も行いました。

⑤関係機関セミナー

JAIST ナノテクプラットホーム事業など8件のセミナーを開催しました。

⑥参加人員(2日間) 延べ 1, 370名

⑦交流会

(2) 産学官連携・交流活動の開催や助成

①「平成30年度 I S P交流セミナー」への共催

開催日 平成31年 3月14日(木)

場 所 石川ハイテク交流センター ホール

主 催 石川県産業創出支援機構

テーマ 県内事例に学ぶ中堅・中小企業のIoT導入の要点

参加者 いしかわサイエンスパーク内の企業等から73名

②J-BEANSセミナーを開催(10回)しました。

③次年度に就職活動する学生を対象に北陸地区企業の見学会を行いました。

④「JAISTフェスティバル2018」での記念品等の助成をしました。

(3) 機関誌『ADVANCED』の発行

賛助会員、その他関係機関等に配布し、北陸先端科学技術大学院大学の教育研究活動の状況や支援財団の事業内容等について情報提供しました。

III 公益目的事業3

学生に対する奨学資金助成事業及び奨学生選考審査委員会の開催

1 奨学資金助成 4件 1, 680千円

優秀な学生確保と北陸3県への科学技術者の定着を目的として、特に優秀な学生(特別枠)及び北陸3県に就職希望する学生(一般枠)に奨学資金を助成しました。

《特別枠》 新規 1名(博士前期課程 1年)

《一般枠》 新規 2名(博士前期課程 1年)

継続 1名(博士前期課程 2年) 合計 4名

2 奨学生選考審査委員会の開催

助成申請のあった者のうち、平成30年7月に奨学生選考に関する選考審査(奨学生選考審査委員5名による書面選考)を行い、3名の「採用」を決定しました。

管理部門

I 理事会・評議員会の開催

次のとおり理事会・評議員会を開催しました。

《 理 事 会 》 6回開催

第46回(書面)

- ・開催日 平成30年 4月17日
- ・決議があった日 平成30年 4月25日
- ・決議事項 第1号議案 「第28回評議員会の招集」の件
第2号議案 「選考委員会委員の選任」の件
第3号議案 「奨学生選考審査委員会委員の選任」の件

第47回(書面)

- ・開催日 平成30年 6月 1日
- ・決議があった日 平成30年 6月 8日
- ・決議事項 第1号議案 「平成29年度事業報告及び決算」の件
第2号議案 「第29回定時評議員会の招集」の件

第48回

- ・開催日 平成30年 6月25日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・報告事項 「理事長及び専務理事の職務の執行状況」の件

第49回(書面)

- ・開催日 平成30年 7月10日
- ・決議があった日 平成30年 7月18日
- ・決議事項 第1号議案 「第30回評議員会の招集」の件

第50回(書面)

- ・開催日 平成31年 2月25日
- ・決議があった日 平成31年 3月 6日
- ・決議事項 第1号議案 「第31回評議員会の招集」の件

第51回

- ・開催日 平成31年 3月26日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・決議事項 第1号議案 「平成30年度事業計画の一部変更」について
第2号議案 「平成31年度事業計画及び収支予算並びに
資金調達及び設備投資の見込み」について
- ・報告事項 「理事長及び専務理事の職務の執行状況」について

《 評議員会 》 4回開催

第28回(書面)

- ・開 催 日 平成30年 5月 1日
- ・決議があつた日 平成30年 5月10日
- ・決議事項 第1号議案「役員の選任」の件
第2号議案「評議員の選任」の件

第29回(定時)

- ・開 催 日 平成30年 6月25日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・決議事項 第1号議案「議事録署名人の選出」の件
第2号議案「平成29年度事業報告及び決算」の件

第30回(書面)

- ・開 催 日 平成30年 7月23日
- ・決議があつた日 平成30年 8月 1日
- ・決議事項 第1号議案「役員の選任」の件
第2号議案「評議員の選任」の件

第31回

- ・開 催 日 平成31年 3月26日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・決議事項 第1号議案「評議員会議長の選出」について
第2号議案「議事録署名人の選出」について
第3号議案「平成30年度事業計画の一部変更」について
第4号議案「平成31年度事業計画及び収支予算並びに
資金調達及び設備投資の見込み」について

「附属明細書」

事業における重要な事項は平成30年度事業報告書に記載されており、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項は、特に無い。

令和 元年 5月